

様式 1

三和中学校 第 2 回学校運営協議会 報告書

- 1 開催日時 令和 4 年 9 月 1 3 日 (火) 1 8 : 0 0 ~ 1 9 : 3 0
- 2 場 所 三和中学校 視聴覚室
- 3 参加者 大小堀 祐也 金城美加子 宜保 馨 安谷屋 瞳 大小堀 祐也
上原 大吾 安里 一樹 宮里 直哉 上原 正寛 大城 忍
瀬底 正栄 吉本 康王
欠席者 久保田 暁 千葉 梨奈 金城 操 山城 涉
- 4 会議内容
 - (1) 会長・副会長、各部長の選出（欠席者がいるため、選出は持ちこし）
→各役職の適任者について意見交換を行った。
 - (2) 学校からの説明
 - ① 2 学期に向けての三和中学校の取組について校長より説明。次の 3 点については、地域や PTA に協力いただきたいこととして協力を依頼
校則の見直しについて
現在までに学級討議を終え、10月に生徒、保護者、教職員の代表者による対話会を実施する予定
字生徒会の体制づくりについて
字生徒会の計画や活動の様子、地域への協力依頼等、学校だより等を通じて行いたい。また、地域からの情報も得たい。
部活動への協力
部活動指導員、外部指導者（コーチ）を増やしていきたい。地域への呼びかけに協力いただきたい。
 - ② 1 学期の学校評価について・・・教頭より
○全体的に肯定的な評価が高い（生徒・保護者、教師ともに）。特に生徒の自己満足度は高い。
▲家庭学習や主体的に学習に取り組む態度、字生徒会の活動についての情報共有や周知に課題がある。
- 5 熟議内容 今回の熟議のテーマ「2 学期以降の学校の取組への支援について」
学校評価の結果を踏まえ、校長からの上記 3 つについて自由な意見交換を行った。
 - ・「校則の見直し」については、是非子どもたちも一緒になって進めてほしい。これまででない取組だと思うが、人権にかかわるものや、合理性のない校則については皆で議論して、見直していくべきだと思う。
 - ・「校則の見直し」や「字生徒会」の取組など、学校から積極的に地域に対して情報

を発信していくことは必要だと思う。地域もそれを待っている（期待している）といえる。SNS等での発信も良いが、学校だより等の紙媒体は地域の皆さんはわかりやすい。

- ・どの地域でもそうだとはいえるが、中学生が地域の行事などにかかわることが少なくなっている。なので、本校の「字生徒会」の活動は地域にとっても嬉しい取組になる。また、小学校のボランティア活動の取組みで、地域の公園の清掃を市社協と連携して計画している。この活動に中学校の「字生徒会」が一緒に活動してもおもしろいかもしれない。
- ・（地域の清掃日について情報を得るにはどうしたらよいか、という学校からの問いに対して）各自治会は年度当初に総会を開いており、清掃日は年間で計画されており、総会資料に掲載されていることが多い。「字生徒会」で子供たちがその資料から情報を得ることはできると思う。
- ・コロナの影響もあり、昨年度までは部活動指導員同士の集まりもなく、他校の情報を得ることができなかったが、最近は研修などもあり情報交換ができるようになった。本校で、外部の指導者を必要としていることを、保護者や近隣校の指導者等に情報を与えながら、適任者を見つけられたらと思う。
- ・行政には、スポーツ推進員等のリストがあると思う。行政側が持っている情報も活用すると良い。

<その他の意見として>

- ・昨年度までコロナの影響でなかなか活動できなかった「読み聞かせ」は、今年度は4月から月1回のペースで実施できている。やはり対面で、子どもたちの雰囲気を感じながら読み聞かせ活動できるのはとても良い。中学生は、その場での反応は薄いかもしれないが、読み聞かせをすることで本に対する興味や関心は高まってくると感じている。今後も毎月テーマを持って読み聞かせ活動をやっていきたい。
- ・コロナ禍になり、制服を購入することが難しい家庭も増えているように感じる。学校側で、制服のストックがあるといいのではないか。管理の面で難しさはあると思うが検討してみてはどうか。